



2023-11-17

No.23-067

報道関係各位

はとやままち  
**株式会社西武ライオンズが鳩山町と  
「連携協力に関する基本協定」を本日締結**  
県内 58 市町村目のフレンドリーシティを背番号 58 の佐藤龍世選手も歓迎！



締結式の様子

(左から)鳩山町イメージキャラクター はとん、鳩山町 町長 小峰孝雄さま  
埼玉西武ライオンズ公式マスコットレオ、ライナ、  
(株)西武ライオンズ 代表取締役社長 奥村剛、

株式会社西武ライオンズ(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：奥村 剛)では、本日 11 月 17 日(金)に、当社の地域コミュニティ活動「**L-FRIENDS**」の一環として、「連携協力に関する基本協定」を鳩山町と締結いたしました。これにより、鳩山町は本日付けで当社の 58 市町村目のライオンズ フレンドリーシティとなりました。

当社では、連携協力に関する基本協定を締結したパートナー都市を「ライオンズ フレンドリーシティ」と総称しています。本連携協定(フレンドリーシティ)は、当社および埼玉県内の自治体が持つ資源を互いに有効活用し、さまざまな事業の協業を通して、地域社会の発展や住民福祉の向上などに寄与することを目的に行うものです。当社では、2015 年 3 月に県内の自治体と連携協定の締結を開始し、鳩山町との連携協定締結により、埼玉県 63 市町村のうち 58 市町村目の締結となります。当社では今後も埼玉県内の全市町村との連携協定締結を目指すと共に、地域社会のさらなる発展に寄与するために、活動してまいります。詳細は以下のとおりです。

**【ライオンズ フレンドリーシティの協業事業】**

具体的な協働事業の項目として、「スポーツ振興」「青少年の健全育成」「地域振興」の 3 つを掲げています。スポーツ振興においては、体を動かすことの楽しさや、スポーツの魅力をひとりでも多くの方に実感していただくことを目的に、ライオンズベースボールアカデミーのコーチが学校を訪問し、学校体育としてベースボール型の授業を行う授業支援「ベースボールチャレンジ」などを実施しています。青少年の健全育成については、小学校・中学校への試合招待券の配布や、幼稚園や保育園における球団公式マスコットのレオ・ライナや公式パフォーマーの「bluelegends」と園児たちとの交流などの活動を行います。さらに地域振興として、町の施策や広報などにおけるライオンズの商標・選手の肖像の活用や、ベルーナドームで行うフレンドリーシティ感謝デーでの PR 出展などを予定しています。

**【株式会社西武ライオンズ 代表取締役社長 奥村剛 コメント】**

鳩山町が当社の 58 番目のフレンドリーシティになっていただけることを大変うれしく、また心強く思います。今年には埼玉県に本拠地を構えて 45 周年を迎える節目の年であり、長きにわたって地域の皆さまのあたたかいご声援があったためだと考えております。また、地域に根付いた球団作りを目指して立ち上げたコミュニティ活動「L-FRIENDS」も丸 5 年が経過いたしました。今後、より一層地域の皆さまと関係性を強め、野球を通して埼玉県全体を活性化するための一翼を担う所存でございます。そして本締結をきっかけに、ひとりでも多くの鳩山町の住民の皆さまに、体を動かすことの楽しさや、スポーツの魅力、野球の魅力を実感していただきたいと思っております。

## 【58番目のフレンドリーシティにちなみ背番号58 佐藤龍世選手 コメント】

鳩山町のみなさん、こんにちは！埼玉西武ライオンズの佐藤龍世です。  
このたび、鳩山町が自分の背番号と同じ、58番目のフレンドリーシティになると聞き、ご縁を感じています。フレンドリーシティをきっかけに、ライオンズと鳩山町の交流が進み、チームのように一体になればうれしいです。現在は来シーズンに向け、秋季キャンプの練習にのぞんでいます。鳩山町のみなさんに、自分の活躍をたくさん見せられるよう、がんばります！よろしくお祈りします！



## 【鳩山町 <sup>こみわたかお</sup>小峰孝雄 町長 コメント】

このたびは、西武ライオンズさまとの連携協力に関する基本協定を締結できましたことを大変喜ばしく思います。多くのファンから愛され、地域に根差した西武ライオンズさまとの連携により、魅力ある事業が展開できることに強く期待しております。また私自身、中学時代は野球部に所属し、野球で培った経験・仲間・思い出は、今でも一生の宝だと感じており、野球に対して強い思い入れがあります。本町では、令和4年度に「自立して社会で生きていく基礎を育み、新しい時代を担えることものの育成」、「生涯にわたり支え合い、学び合う地域づくりの推進」を基本方針とした「第2期鳩山町教育振興基本計画」策定し、町民一人一人が、生涯にわたってスポーツによる交流と健康づくりが進められるよう、スポーツ・レクリエーション事業の充実に取り組んでおります。今回の協定の締結を機に、西武ライオンズさまと連携を図りながら、教育の更なる振興と発展を目指してまいります。

## 【ライオンズ フレンドリーシティ一覧】

2015年：所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市

2016年：朝霧市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、川越市、秩父市、蕨市、戸田市

2017年：東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、川口市、川島町、横瀬町

2018年：久喜市、桶川市、深谷市、鴻巣市、北本市、さいたま市、八潮市、蓮田市、上尾市、熊谷市、白岡市、三郷市、茂呂山町、加須市

2019年：羽生市、神川町、伊奈町、本庄市、皆野町、滑川町

2020年：小鹿野町、宮代町、吉見町、行田市、越谷市、ときがわ町、小川町、越生町

2021年：東秩父村、長瀨町、幸手市、上里町、春日部市

2022年：草加市

2023年：吉川市、鳩山町

## 【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570) 01-1950 (平日 10時～18時)